

(研究会議用)

令和3年度 研究概要

研究推進担当者会議

所属名  カリキュラムセンター	研究会議名  国語科研究会議
研究主題	新たな視点を得ながら、更新し続ける「読むこと」の単元づくり ～一人一人の最適な学びを目指して～
資質・能力 育成を目指す	課題解決に向かい、新しい視点を得ながら関わり続ける資質・能力
研究内容	<p>全面実施となった小学校、中学校の学習指導要領や、令和3年1月に示された『令和の日本型教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（中央教育審議会）を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り「主体的・対話的で深い学び」の実現に向かう、国語科における授業改善について研究を進めることとした。</p> <p>本研究会議においては、はじめに、資質・能力を身に付けていくために目指す児童生徒の姿を「資質・能力を身に付けることに向かって、新しい視点を得ながら関わり続ける子」とした。この「関わり続ける」対象としては学習対象や学習課題、教材、級友等が含まれる。一人一人の児童生徒が、見通しをもって学習を進める中で、目標の実現に向かうための新しい視点を他者から得ながら試行錯誤し、単元において絶えず理解や思考等を更新していくことができるような授業を目指して研究を進める。実際に小学生、中学生の各段階に応じた授業づくりをすることを通して、目指す児童生徒の姿につながる具体的な方策を研究する。</p> <p>また、学校訪問や年次研修の際に「主体的に学習に取り組むことができるような『読むこと』の単元づくりが難しい」という教員の声を聞くことが少なくない。そのため、〔思考力、判断力、表現力等〕における「読むこと」の領域の単元づくりに焦点を当てた研究を行うこととし、上記テーマを設定した。</p>